

各位

全3ページ
登録速報(2026-059)
2026年4月21日
クミアイ化学工業株式会社
企画普及部普及課

登録速報

下記の通り適用拡大登録となりましたので、ご連絡します。
適用拡大登録年月日：2026年4月8日
イソチアニルの再評価が終了しました。

記

1. 農薬の登録番号及び名称

種類：イソチアニル水和剤

登録番号：第23195号

名称：ルーチンフロアブル（バイエル クロップサイエンス（株）登録）

6 農薬の適用病害虫の範囲、使用方法及び使用期限

作物名	適用病害虫名	希釈 倍数	使用液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	イソチアニル を含む 農薬の 総使用回数
稲 (箱育苗)	いもち病 白葉枯病 内穎褐変病	75~ 100倍	育苗箱 (30×60×3cm、 使用土壌約5L) 1箱当り0.5L	移植3日前~ 移植当日	1回	灌注	3回以内 (移植時までの 処理は1回以内、 本田では2回以内)
	もみ枯細菌病	75倍					
稲	いもち病	原液	100mL/10a	移植時		ペ-スト肥料 に混合し 側条施肥田植機 で施用する。	

使用期限：5年

7 農薬の使用上の注意事項（8に掲げる事項を除く。）

- (1) 希釈して使用する場合は、使用量に合わせ薬液を調製し、使いきることを。また、原液で使用する場合は、使用量に合わせ秤量し、使いきることを。

- (2) 使用前によく振ってから使用すること。
- (3) 本剤を誤って過剰に使用したり、本剤使用後 4 日以上移植せずに育苗箱中におくと葉先枯れなどの薬害を生じることもあるので、所定の使用量、使用時期、使用方法を厳守すること。
- (4) 軟弱徒長苗、むれ苗、移植適期を過ぎた苗などには薬害を生じるおそれがあるので注意すること。
- (5) 本田の整地が不均整な場合は、薬害を生じやすいので、代かきは丁寧に行い、移植後田面が露出しないように注意すること。
- (6) いぐさ栽培予定水田では使用しないこと。また、本剤を処理した稲苗を移植した水田ではいぐさを栽培しないこと。
- (7) きく等の他作物に影響を及ぼす場合があるので、薬剤が育苗箱からこぼれ落ちないように処理すること。また、土壌全面に不透水性無孔シートを敷くなど、薬剤処理後の灌水による土壌への浸透をさけること。
- (8) 本剤の使用に当っては、使用量、使用時期、使用方法等を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には病虫害防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

8 人畜に有毒な農薬については、その旨、使用に際して講ずべき被害防止方法及び解毒方法

(1) 人畜に有毒な農薬については、その旨及び解毒方法

ア 農薬使用者に係る注意事項

① 毒性情報

アレルギー性反応のおそれ。

② 安全上の注意

1) ミストを吸入しないこと。

2) 作業中は飲食・喫煙禁止。

3) かぶれやすい人は作業せず、施用した作物などに触れないこと。

4) 汚れた衣服は脱ぐこと。

5) 作業後は身体を洗い流し、うがいをするとともに衣服を換えること。

6) 作業時の衣服などは他と分けて洗濯すること。

③ 応急処置

1) 誤飲時、気分悪い時は医師の手当。

2) 皮ふ付着時はよく洗い、皮ふ刺激や発疹が生じた時は受診すること。

(2) 使用に際して講ずべき被害防止方法

ア 農薬使用者に係る被害防止方法

① 防護装備

[薬剤調製者]

稲(箱育苗)、稲：不浸透性手袋

[散布者]

稲(箱育苗)、稲：農薬用マスク、不浸透性手袋、不浸透性防除衣

9 生活環境動植物に有毒な農薬については、その旨

この登録に係る使用方法では該当がない。

10 引火し、爆発し、又は皮膚を害する等の危険のある農薬については、その旨

通常的使用方法ではその該当がない。

11 農薬の貯蔵上の注意事項

直射日光をさけ、食品と区別して、なるべく低温で乾燥した場所に密栓して保管すること。

以上